

令和2年5月18日

## 令和元年度政務活動のあらまし

品川区議会自民党  
幹事長 石田 秀男

品川区議会自民党は、8名で組織しており、本年度も様々な活動を行いました。

日頃の政務活動のなかで、区民の皆様の声をお聞きするとともに、各種団体とのヒアリングを行い、令和元年度も7月22日～8月2日の日程で、55団体の皆様からご意見ご要望を頂きました。

その後、政務調査会の検討の結果、10月に170項目に亘る「令和2年度予算へ向けた政策要望」の取りまとめを行い、濱野健区長に提出いたしました。

令和元年度予算におきましても、我が会派から要望した内容が数多く取り上げられ、実現しています。

政策提言を行うには、実際に行われている状況の把握や現場の確認、先進自治体の状況把握が不可欠であり、区内各所の調査とともに区外の調査も行いました。

8月には、札幌市で幼保小が一体となった小学校で、課をまたがる事務の分担や、観光地ならではの多数の外国人を想定した一時避難所機能の検討状況の調査、2月には、御殿場市で障害者、高齢者の一体となった施設の中で社会参加の質の高め方などを視察し、各種委員会にて発言を行いました。

また、多方面で活躍されている方を講師に招いた政策セミナーを年17回開催しました。代表的なものとして、商店街エリアマネジメント、主権者教育、地域包括ケアサービス、デフリンピック、アーバンスポーツ、在住外国人支援などそれぞれ政策要望に活かしています。

広報活動として、区政の最新状況を伝えるべく「品川区議会自民党広報誌」を3回発行し、区民の皆様へ情報をお届けしております。区内各種団体の皆様には定期的に広報誌送付を行っております。品川区議会定例会の最終日には、会派の議員全員で定例会の内容を含め区政報告を大井町駅前にて行っております。

3月30日には新型コロナウイルス感染症対策の第一回緊急要望、4月17日には第二回緊急要望を濱野健区長に提出。広報紙も緊急に3月に1回、4月に2回発行しました。

今後も地域に密着し、区民の皆様にご理解、ご支援いただける活動を行っていくことをお約束し「政務活動のあらまし」の報告とさせていただきます。